

CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ
「清流トレッキング&滝つぼ遊び」に出かけよう!
- 4 県政フラッシュ
- 特集1
6 この子たちに家庭の愛をください
- 特集2
8 沖縄県の中小企業振興の取り組み
- 特集3
10 労使間のトラブルで悩んでいませんか?
- 12 守りたい自然 ~おきなわの彩鳥(いろどり)~
コチドリ
- 14 仕事の現場ウォッチング
公務員のシゴト(消防士)
- 16 県のうごき1
野菜パパイア食べようキャンペーン
- 17 県のうごき2
第33回 沖縄の産業まつり
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け!わたした島の未来「沖縄元気プロジェクト」
宜野湾市

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課

TEL.098-866-2020

http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

遊んで学ぶ自然教室

親子エコくらぶ

OYAko Eco CLUB

沖縄の自然を まるごと体験

やんばるの自然を全身で感じられるリポートレッキングに参加するのは、喜屋武萌子ちゃん(中一)、桐子ちゃん(小五)、桃子ちゃん(小三)、蓮司くん(六歳)親子、お父さんお母さんも、水着を着てやる気満々!靴が水の中で脱げないように、かかと部分が止められるスポーツサンダルを履いています。案内役の浅子先生に続き、みんな出発!



さあ出発だ!エイエイオー!



泥岩をこすると色が付くよ。ボディペイントしちゃえ!

ので、上流ではゴミなどを捨てたりして川を汚してはいけません。「川や山の汚れは、そのまま海に繋がっていく。川や山が元気だと、海も、そして人間も元気になるよ」と先生。

これからも守っていききたい大自然の息吹を胸いっぱい吸い込んで、大満足な一日を過ごした喜屋武さん親子でした。

「清流トレッキング&滝つぼ遊び」で注意すること

1 石の上は滑りやすいので石と石の間に足をつけ、腰を低くして歩く。山の中は携帯電話が繋がらない場所がほとんどなので、ケガには十分気をつける。



2 川の水は浮力がないので、大人も子供も必ずライフジャケットを着る。



3 川の水は冷たいので、唇の色が変わったらすぐに川から出て、太陽を浴びて体を暖める。



4 観察した生物や植物は、元の場所に返す。



5 自然をしっかり知っている人や、ガイドと一緒にいくようにする。



川の上流には大きな滝つぼが。澄んだ空気が最高のごちそうです

ヒカゲヘゴヤシダが生い茂る山道を歩いていくと、青くキラキラと光るリュウキウハグロトンボを発見しました。「メスは黒っぽく地味な色なのに、オスが派手なのは何故かな?」という先生の質問に、「プロポーズしているから」と元気に答えた桃子ちゃん。メスはお腹に卵を抱えているため、目立たないようにしているのです。

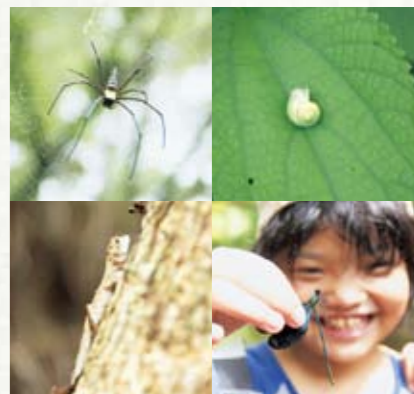
他にも、きれいな黄緑色の体をしたアオミオカタニシ、アオスジアゲハ、キノボリトカゲ、ジヨロウグモなどたくさん生物を観察できました。水辺の植物や生物を観察しながら十分ほど川を上ると、目的地の滝つぼに着。冷たい川の水にびしょ濡れした喜屋武さん親子ですが、すぐに慣れて泳ぎ始めまし



身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちななく流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう!

監修/NPO法人沖縄ホールアイズ研究所

10月のテーマ★「清流トレッキング&滝つぼ遊び」に出かけよう!




山の中や水辺で、たくさんの生物を発見

川底にある赤茶色の泥岩はとても柔らかい石なので、岩にこすりつけると、まるで絵の具のように色がつきます。顔にペイントしようとするお父さんから逃げ回る桐子ちゃん。萌子ちゃんは、腕いっぱい落書きされてしまいました。

川や山が元気だと海も元気!

この川の下流にある集落では、川の水を塩素消毒し、飲み水として使っている

今日の先生



「がじゅまる自然学校」校長 浅子 智昭さん

本島北部の大自然や里をフィールドに、沖縄の自然・文化を通して豊かな心を育てる自然体験活動の普及に努める。日本エコツーリズム協会が応援する「このガイドさんに会いたい100人プロジェクト」の一人にも選出された。

URL: <http://www.wens.gr.jp/gajumaru>